



# 大北小だより

7月号

平成26年 6月 30日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-ky.ed.jp/>

## 「お・か・た・づ・け」

校長 小島 英樹

オリンピックを超える国と地域が参加する、世界一のスポーツイベントといわれるサッカー「ワールドカップ ブラジル大会」が佳境を迎えています。

発展途上の国々も、国内外に紛争を抱える国々も、人種問題や民族問題や貧困問題に揺れる国々も、それぞれの国民の期待と希望を一身に担って、世界最高の技術と、連動するチームプレーと、鍛え抜かれた肉体のすばらしさを魅せています。

同時に、ピッチで躍動する11人の選手とは別に、“12人目のプレーヤー”とも呼ばれる各国サポーターのパフォーマンスも注目の的です。顔全体に自国の国旗をペインティングしたり、風変わりな衣装をまとうお国柄をアピールしたり、試合展開にあわせて全身で喜怒哀楽を表現したり、まさに一喜一憂しながらスタンド全体が波打ち、選手と一体となります。

その中で、日本人選手・サポーターによる行動が世界を驚かせました。それは、試合に負けた直後の悔しい思いを抱えながらも、控え選手を含めた選手全員がスタンドに向かって深々とお辞儀をして感謝の気持ちを表す姿と、その後の日本人サポーターによるスタンドのゴミを拾う姿です。

日本に古くからある「立つ鳥、後を濁さず」の言葉通り、自分たちが観戦したスタンドを次に使う人のためにきれいに掃除しておくという、かつての日本人にとっては当たり前のことですが、残念ながら今では日本でも廃れつつある行動を、遠くブラジルの地で多くの日本人サポーターが実行していることに世界中から賞賛の声が上がったのです。

2020年東京オリンピック招致演説で話題となった「お・も・て・な・し」の精神をまさに形に表したといえる「お・か・た・づ・け」であり、「ご・み・ひ・ろ・い」の行動です。これこそ、憲法前文に明記された日本の目指すべき理想の姿である「名誉ある地位をしめたいと思う。」に合致する世界に誇ることのできる行動・態度の実践といえるのではないのでしょうか。

次世代を担う本校の子供たちにも、毎日の清掃指導や道徳授業、校外学習や移動教室等の学校行事の機会を通して、ゴミ拾いや整理整頓、思いやりや助け合いの態度と行動力を育てています。ぜひ、ご家庭や地域でも、一緒に育てていきましょう。

さっそく私もサポーターを見習い、夜遅い電車内に放置された空き缶とペットボトルを拾って帰りました。バッグの中には、いつもゴミ袋1枚と日本人としての誇りを入れています。

# 7月行事予定表

◎今月の生活目標：・物を大切にしよう ・汗の始末をしっかりとしよう

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1 区一斉防災訓練 (地震想定・下校) 14:30 地震発生 14:50 引取開始 15:10 訓練終了	2 七夕集会	3 こころの劇場 (6年) 都学力調査 (5年) 保護者会123年 14:50~	4 保護者会45年 14:50~	5
6	7 全校朝会 安全指導 移動教室前日検診(6年)	8 大泉図書館見学 (3年) 武石移動教室6年始	9	10 給食試食会	11 武石移動教室6年終	12 土曜授業(水曜時間割) セーフティ教室6年
13	14 全校朝会 クラブ⑥	15 4時間授業 (4-2研究授業のため)	16 けやき班遊び 個人面談①	17 個人面談②	18 全校朝会 給食終 給食後大掃除	19
20	21 海の日 夏季休業日開始	22	23 夏季水泳① 学力補充教室① 個人面談③	24 夏季水泳② 学力補充教室② 個人面談④	25 夏季水泳③ 学力補充教室③ 個人面談⑤	26
27	28 夏季水泳④ 学力補充教室④ 個人面談⑥	29 夏季水泳⑤ 学力補充教室⑤ 個人面談⑦	30 夏季水泳⑥ 学力補充教室⑥ 個人面談⑧	31 夏季水泳⑦ 学力補充教室⑦ 個人面談⑨	個人面談・学力補充教室は、学年・学級によって設定日が変更になります。	

**学校公開参観ありがとうございました。**また、感想へのご協力にも感謝いたします。頂いたご意見を今後の教育活動に生かしてまいります。感想を一点紹介させていただきます。

『●靴箱上の保護者の靴について：×マークがあるのに平気で置いてあることに、大人として親としていかなものだろうと感じました。子供の態度を正す前に、親である私達がきちんとすべきではないかと改めて感じました。』(大人のマナーに関する感想を他にも頂いています)

さて、ご存知のように練馬区では、6月～2月(8月を除く)の第2土曜日を「土曜授業公開日」としています。その初回である6月は、本校では「学校公開日」と位置づけてお知らせを出し、授業公開を行いました。今後は、お知らせは出ませんが、「土曜授業公開」を行います。どうぞお子さんの学校での様子をご覧にいらしてください。次回は7月12日です。なお、参観中の廊下、階段等での私語や笑い声、小さなお子様の声や行動は、授業の妨げとなりますので、ご配慮をお願いいたします。

**欠席の連絡** 特別な事情がある場合を除き、欠席の連絡は、連絡帳でお願いします。また、学校への電話は、8:20～8:40の時間帯は、会議中や全校朝会のため避けてください。

## 副校長通信

### 「家庭教育」

副校長 城崎 真

子供たちのよりよい成長のためには、地域・保護者・学校が一体となって見守り、育てていくことが不可欠です。学校では、子供たちのよりよい成長のためと考え、いろいろなルールを作っています。そのルールは、窮屈なものと感じるものもあるでしょう。しかし、いろいろな人が生活する場面では、ルールを守ることが大切であり、また、そのことを教えていかなければ、本人が将来困ることになるのです。小学生のうちに、ルールを守ること、人の意見を素直に自分に取り入れること等を身につけさせていきましょう。ご理解・ご協力よろしく願いいたします。

# がんばった運動会！

## 1年

### 小池 千恵子

小学校に入学してから、初めての運動会。五十音順での並び方から背の順での並び方へ変わったり、朝登校したらすぐに体育着に着替えて全校練習が始まったりと、練習期間は毎日が初めての連続でしたが、一人一人が自信をもって、元気に運動会当日を迎えることができました。

団体演技のにんじやり☆40では、「一つ一つの動きを大きく、楽しんで踊ろう！」と声を掛けながら練習に取り組んできました。子供たちはその声に応え、みんなとてもかわいく元気いっぱいの忍者になって踊ることができました。

保護者の皆様には、キャップバンダナに40をつけることを始め、いろいろとご協力いただきありがとうございました。また、運動会当日には、猛暑の中、子供たちに大きく温かい声援や拍手を送って下さりありがとうございました。



## 2年

### 田代 順子

昨年度に比べて集合が早くなり並び方が上手になりました。特にダンス「空へ！みんなでジャンプ！」では大きくしっかり動作をとること・要所要所できちんと手を伸ばすこと・列をそろえることなど大事なポイントを押さえながらの練習を一つ一つ確実に身につけることができました。何回練習しても真剣に取り組むこともでき、子供たちの成長を感じました。

元気な2年生の子供たちは、曲に乗りやすくジャンプの多いダンスを気に入って、練習がない日も「先生踊りたい」という声が上がりました。クラスで自主的に練習している姿は見ていてほほえましかったです。

衣装の準備等ご協力ありがとうございました。保護者の方の応援があったからこそ、あの暑い日の運動会を立派にやり抜くことができたと思います。



## 3年

### 山川 美帆

フラフープのダンスは、集団で表現することで、一人の時とは違った達成感を味わわせることができると思い、集団で表現する形にしました。3年生ということで、道具を使った細かな動きも出来るようになっていますが、初めのうちはフラフープの扱いに苦労していました。しかし、本番が近づくにつれ3年生一人一人が上達し、真剣な顔つきに変わっていったことに、成長を感じました。

学年競技のOH!kita!ARASHIは、抜きつ抜かれつの大接戦となりました。子供たちは自然とお互いに声を掛け合い、一致団結して協力する姿が見られました。

最後になりましたが、子供たちにとってダンスや80m走などで自分たちに向けられた声援や拍手が、何よりも励みになりました。ありがとうございました。



## 4年

## 高橋 諒

今年の4年生のテーマは、「クールにかっこよく。」去年よりもステップや隊形移動が難しくなり、練習では子供たちが苦勞する場面がたくさんありました。そのような中でも、練習に対してひたむきに頑張ったり、休み時間に教室で自主練習をしたりする姿は、とても頼もしく見えました。そして、当日には息の合った掛け声から一人一人がクールにダンスを踊ることができました。また、顔の上げ下げや振りを大きく見せるといったポイントを意識して演技することができました。その姿は、正に「ルパン三世」を思わせるようなかっこよさでした。最後には、予告通り大北小40周年の主演をしっかりと頂き、開校40周年記念運動会を盛り上げました。演技を終えた子供たちも、担任も笑顔で大成功を讃え合いました。

保護者の皆様、衣装のご協力、ご家庭での温かいお声掛けありがとうございました。



## 5年

## 綾 新太郎

「足を大きく開いて腰を低く!」「体を大きく動かしてダイナミックに!」「大きなかけ声で盛り上げる!」ソーラン節を格好良く踊るコツです。とは言っても、これが本当に難しく、筋肉痛になったり、声をからしたりと、本気で頑張っているからこその疲労もありました。それでも、最高の演技をしようと、弱音をはかず、運動会本番の演技を終えるまで精一杯頑張り続けました。演技の最後で大きく声をあげた子供たちはとてもよい表情で、5年生の心が一つになった瞬間でした。

加えて、今年は高学年として初めて迎えた運動会でした。自分たちの演技・競技はもちろん、係児童として、大北小の運動会を成功させるために、責任をもち一生懸命仕事をした経験が、これからの成長にもつながっていくと感じました。

保護者の皆様には、温かい励ましの言葉をいただき、子供たちにとって、大きな自信になったことと思います。ご協力ありがとうございました。



## 6年

## 吉田 啓伸

小学校生活最後の運動会を終えた6年生。そこには、カー杯やり遂げた達成感と充実感を感じ、誇らしげな表情がありました。組体操、鼓笛、騎馬戦など、わずかな練習期間の中で一つ一つ真剣に取り組んできた成果だと感じています。一人一人に与えられた係の仕事、開閉会式での態度からも、大北小のリーダーとしての意識が高まってきていると感じます。子供の作文にもありましたが、「6年生として立派に輝くことができた運動会」となりました。

保護者の皆様や地域の方々からの演技に対する大きな拍手が、子供たちの自信につながり、本番でも演技を成功させることができました。ご支援・ご協力に心から感謝いたします。

